



中等9期卒業生 145名を迎え同窓会員 2万2千人に迫る

コロナ禍による制限も終わり、2023年度は伝統の合唱祭、鷹校祭、修学旅行など学校行事もほぼ従来通りで実施されました。2024年3月、コロナ禍を乗り越え、中等9期生が卒業し新たな同窓会員として迎えました。来る6月15日に恒例の同窓会総会・懇親会を行います。皆様お誘いあわせの上ぜひご出席ください。

能登地域に思いを寄せて



会長
吉野 利明 (15A)

皆さんこんにちは。令和の時代になって6年となりましたが、お元気でお過ごしでしょうか。今年は、新年明け早々に能登半島で大きな地震があり、多くの犠牲者や多大な被害が発生しました。日本中の正月気分を吹き飛ばすような悲惨な状況がテレビで放映され、私たちが心を痛める年明けとなってしまいました。かつて、東日本大震災の時、日本中が喪に服する様な気持ちで過ごしたことが、思い出された事柄でした。ある新年会で私は、能登の人たちの思いを寄せながら、でも私達が元気でいることが能登の復旧、復興の力になるのではないかと、というような挨拶をさせて頂きました。長い時間のかかる復興ですから、私達も元気に応援していきたいと思えます。春の卒業式シーズンに、避難をしていた能登の高校生たちが、地元に戻ってきて卒業式に出席する姿が放映されていて、ちょっとホッとしたものでした。

さて、私達の三鷹中等教育学校でも、3月8日に中等第9期の卒業式の予定演習が行われ、同窓会としても参加をさせて頂いて、皆勤賞の図書券を贈呈させて頂きました。今年は6年間の皆勤が7名もいて、素晴らしいと感じました。私も予定演習で挨拶をさせて頂いて「大学受験が終わって卒業が近づいたとき、もうしばらくこの仲間たちと一緒にいたいな、と思ったのを今でも覚えています」



▲合唱祭は三鷹高校時代から通算50回目の節目となりました。

というような話をさせて頂きました。希望に胸膨らむ旅立ちとともに、親しき友と別れる寂しを感じる瞬間だと思いました。そして、145名が旅立った今年の卒業式は3月9日でしたが、卒業生代表の式辞は毎年の事ながら今年も感動的なものでした。仲間への言葉、後輩への言葉、そしてお世話になった先生方への言葉のどれも感動させられました。卒業式に参加されました前校長の藤野先生は、終わった後に卒業生から「先生が一番泣いていたよ」とひやかされていました。本当にいい子どもたちが育ち巣立っ

て行く学校だと強く感じ取っています。同窓会としても、こうした在校生を誇りに思い、学校と連携を取りながら引き続き応援をしていきたいと思っています。今年の1月に、久しぶりに学校側と同窓会との懇親会の場をもつことができました。学校からは校長先生以下8名の先生が参加して頂き、同窓会からは私以下5名が参加して、今後の連携について幅広く話をさせて頂きました。同窓会の皆様もぜひ総会に参加して、学校の様子を肌で感じて頂きたく、お待ちしております。

総会・懇親会のお知らせ

日時:2024年6月15日(土)

14:00~

(13:30受付開始)

場所:吉祥寺東急REIホテル

総会議事:

- 2023年度決算報告
- 2024年度予算について
- その他

会費:一般会員 3000円

学生会員 無料

当日お問合わせ

090-3906-9042(鈴木)

090-5556-4914(車)



出席予定の方は同封のハガキまたはE-mail(info@mitaka-doso.net宛)にて6月8日までにお知らせください。

2024年同窓会報 主な記事

| | |
|-------------------|-----|
| 旧教職員短信 | 2面 |
| 同期会・クラス会・OB/OG会便り | 4面 |
| 母校だより | 8面 |
| 同窓生あの人この人 | 10面 |
| 同窓生短信 | 11面 |
| 事務局からのお知らせ | 16面 |